

## まちづくりの目標 4

### 安全・安心・快適を実感できるまちづくり（都市基盤・防災・防犯・消防）

次に、まちづくりの目標 4 「安全・安心・快適を実感できるまちづくり」について申し上げます。

まず、**快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出**につきましては、「立地適正化計画」を踏まえ、都市機能誘導施設の建設を推進し、コンパクトで魅力と活力あるまちづくりを進めてまいります。また、リニューアルを進めている滝の宮公園につきましては、花見広場、大池周辺の園路整備に続き、管理棟の建替えに着手してまいります。

次に、**道路の整備**につきましては、市域内幹線道路の整備に関し、萩生側と大生院側の2つの工区に分けて事業を進めている「上部東西線」につきまして、引き続き用地買収及び工事を進め、「宇高西筋線」につきましても、事業推進に向けた用地買収を進めるとともに、新たに、「宇高西筋線」に接続する「西原松神子線」の整備に着手してまいります。さらに、国の進める「国道11号新居浜バイパス」及び県事業の「西町中村線」、「郷桧の端線」、「宇高西筋線」、「新居浜別子山線」、「金子中萩停車場線」につきましても、引き続き整備促進を要望してまいります。

次に、**安心な住宅の整備**につきましては、東田団地以降の整備計画として、次期「新居浜市公営住宅等長寿命化計画」の策定に取り組んでまいります。

また、民間木造住宅耐震改修工事への補助を通じて耐震化の促進を図るほか、適切な管理の行われていない空き家等の対策につきまして、除却の支援拡充や空き家等対策計画に基づき、必要な措置を講ずるよう努めてまいります。

次に、**港湾の整備**につきましては、港湾地域における2050年のカーボンニュートラル実現に向け、「新居浜港・東予港（東港地区）港湾脱炭素化推進計画」に基づき、引き続き、産・官・学が連携した取組を進めるほか、新居浜港の利便性の向上、物流コストの低減、脱炭素化に向けた取組等、地域の発展と人口減少等社会構造の変化に対応した港湾の整備に向けて、港湾計画の改訂を進めてまいります。また、マリンパーク新居浜開設30年を記念した周年イベントを開催いたします。

次に、**防災・減災対策の推進**につきましては、新年度より、本市が県内市町との共同運用を提案した「クラウド型被災者支援連携システム」の運用を本格的に開始いたします。住家（じゅうか）被害認定調査や被災者の生活再建へのサポートと言われる罹災証明書の迅速な発行、被災者台帳の作成など、災害時に生じる一連の支援業務を効率的かつ適正に実施することで、被災者の皆様の負担軽減と早期の生活再建を後押ししてまいります。県内統一での運用により、市町間

での支援の効率化やノウハウの共有を進め、地域全体の防災力向上に取り組んでまいります。

また、自助・共助や災害への備えに対する意識向上を図るため、防災センターを活用した啓発や防災訓練、資機材の整備、地域の防災活動への支援、地域防災リーダーとなる防災士の養成、女性の視点や要配慮者に寄り添った避難対策に努め、地区防災計画に基づく取組を支援し、地域防災力の強化を進めてまいります。さらに、災害時の避難行動要支援者の避難円滑化等のため、実効性のある個別避難計画の作成を進めてまいります。

次に、**消防体制の充実**につきましては、「南消防庁舎基本計画」に基づく南消防庁舎の新築移転及び愛媛東予東部消防指令センターの併設を進め、地域の防災力の充実と、災害情報の一元化、高度な相互応援による災害対応力の向上に取り組んでまいります。また、「消防自動車整備計画」に基づき、川東分署の小型化学消防ポンプ自動車、南消防署の高規格救急自動車及び軽小型動力ポンプ付積載車、消防団の消防ポンプ自動車など順次、更新整備いたします。

次に、**運輸交通体系の整備**につきましては、持続可能な公共交通網の形成に向けて、地域公共交通計画を踏まえ、デマンドタクシーの利便性向上や料金見直し、バス路線の維持・再編に取り組むとともに、新年度より、新たに交通事業者の乗務員確保への支援に取り組んでまいります。